



(左) 火点標的に向けて放水。



(右) 放水の目標となる火点標的。

(下) 息を合わせて、無駄のない動きで素早くポンプをセットする。

7/22

チームワークは超一流

東栄地区港湾緑地

夏の暑い日差しの中、東栄地区港湾緑地で行われた、第17回大竹市消防団ポンプ操法大会。市内各地域から消防団12チームが参加し、ポンプ操法の技術を競い合った。

技術、敏速な動作、そして何よりもチームワークが要求される競技だが、どのチームも日ごろの訓練の成果を發揮し、見事な動きでポンプを操っていた。



サンフレッチェ広島がやってきた

小方小学校

7月18日、「サンフレッチェ広島ホームタウンふれあい活動事業」が、小方小学校で開催された。

このふれあい活動では、サンフレッチェ広島の選手、コーチ、クラブスタッフが学校を訪問し、サッカーを通じて感動を共有し、子供たちの夢を育んでいる。当日は、雲一つ無い快晴のもと、6年生58人が参加し、サンフレッチェ広島から、DFの千葉和彦選手、MFの清水航平選手、I・デホン選手が訪れた。先日の試合で華麗なボレーシュートを決めた清水選手がそのシュートの再現を試みたり、児童のチームとのミニゲームを楽しむなど、終始児童の歓声がグラウンドに響いた。



(右) 選手の登場に子どもたちの歓声が上がる。
(左) 清水選手にアタック!



(上) 児童の質問に軽快に答える選手たち。



ゲームの後は、児童から選手にさまざまな質問が行われた。「なぜサッカー選手になったのか」という質問に対し、千葉選手は「女の子にもてたいから」と笑いを誘っていた。選手からは、児童に色紙などのプレゼントがあった。この後、選手たちは各クラスに分かれ、児童と一緒に給食を食べた。子どもたちは、サインをもらったり、またそこでも質問したりと交流を楽しんでいた。

最後に、千葉選手は「みんなの笑顔がいっぱい見られてよかった。こういう機会を通じてサッカーをもっと好きになってほしい。」「清水選手は「自分の小学生の時よりレベルが高い(笑)」。女の子も積極的にボールを追いかけてくれてうれしかった。」「I選手は「今年2回目になるが、楽しかった。子どもたちに、夢や希望を与えられるよう、しっかり伝えていきたい。」と楽しそうに語ってくれた。

釣り糸を垂らし島での時間を楽しむ

阿多田島

どこまでも広がる青空のもと、今年も「あたた愛ランドで釣り大会」が阿多田島で開催され、市内外から77人が参加した。

参加者は朝のフェリーで島に到着し、開会式で日程や危険な魚などの注意を聞いた後、それぞれ島内の思い思いの場所で、釣り糸を垂らした。1人で何本も釣竿を持参して本格的に釣りをする人や、日よけのテントを張って家族でのんびり釣りをする人など、島での時間を楽しんだ。

広島市から参加していた田中暖くん(小2)は、「阿多田島へは初めて来ました。今度、海水浴にも来てみたいです。」と話していた。

7/28



(上) フェリーから降りて、開会式の会場に向かう参加者。
(左) 島内の思い思いの場所で、釣りを楽しんだ。



(左) 釣った魚を持ってにっこり。



(左) 阿多田島は初めてという、田中暖くん。これからもぜひ来たいそうだ。



(上) ケーブルテレビの質問に答える千葉選手。
(右) I選手にサインをもらう児童。



7/18

CONTENTS

02 カメラスケッチ

特集

06 帰ってきた gomidas

- 10 災害時の要援護者避難支援制度
- 11 日本赤十字社の活動
- 12 市文化祭
- 13 広島交響楽団共同鑑賞／コイ・こいフェスティバル・イン・おおたけ出店者・出演者募集
- 14 学校選択制度
- 15 小中連携・小中一貫だより
- 16 自殺予防週間
- 17 見守りサービス／鳥獣から農作物を守ろう
- 18 シリーズ
- 19 みんなで考えよう公共交通
- 20 生涯学習講座
- 21 勤労青少年ホーム
- 22 としょかんだより
- 23 情報ステーション
つどいの広場／親と子の本の広場／子育て／健康／福祉／講座／催し／相談／募集／お知らせ
アラカルト／先取り情報ステーション
- 31 就業構造基本調査／全国瞬時警報システム緊急試験放送／広告
- 32 はじめまして／オータムジャンボ宝くじ発売

今月の表紙

あたた愛ランドで釣り大会



表紙の写真は、7月28日に阿多田島で行われた釣り大会の様子です。

当日はとても日差しが強く、暑い1日となりましたが、広がる青い空と青い海に囲まれ、参加者は魚釣りを楽しんでいました。

小瀬川を照らす 鮮やかな光

一段と暑さが増した7月末、「大竹・和木 川まつり花火大会」が行われ、夏の夜空を彩る約1,000発の花火を、約18,000人が楽しんだ。
当日は、浴衣を着た人が早い時間から行き交い、また、本通りには屋台が並び、遅くまで多くの人で賑わった。

小瀬川河口付近

(下)本通りにはたくさんの方が行き交い、歩くのも難しいほど。



(右)連続して上がる花火に、会場からは歓声が上がった。



待ちに待った 夏の土曜の夜

大竹駅前商店街

今年も土曜夜市「昭和で遊ぼう」が開催され、大竹駅前の商店街では、約4,000人が夏の夜市を楽しんだ。
今年のテーマは「昭和」で、会場には手作りゲームや屋台などが並び、子どもたちは夢中になって楽しんで、また、猿まわしやストリートパフォーマンスなども行われ、観客からは大きな拍手が送られた。

(上)フードコートで一休み。
(左)欲しかった色が取れたかな。



(右)ボールすくい、ほくもやりたいな。
(左)まだ明るいうちから多くの方が訪れた。

